



2014年12月期 第2四半期株主通信

2014年1月1日~2014年6月30日 証券コード:2384

# SBSビジネスレポート

■ 特集

順調に進展している  
SBSグループの海外事業展開

■ INDEX

ビジネスハイライト	01
社長メッセージ	02
特集	03
ハイライト	05
トピックス	06
連結業績	07
会社概要&株式の状況	10

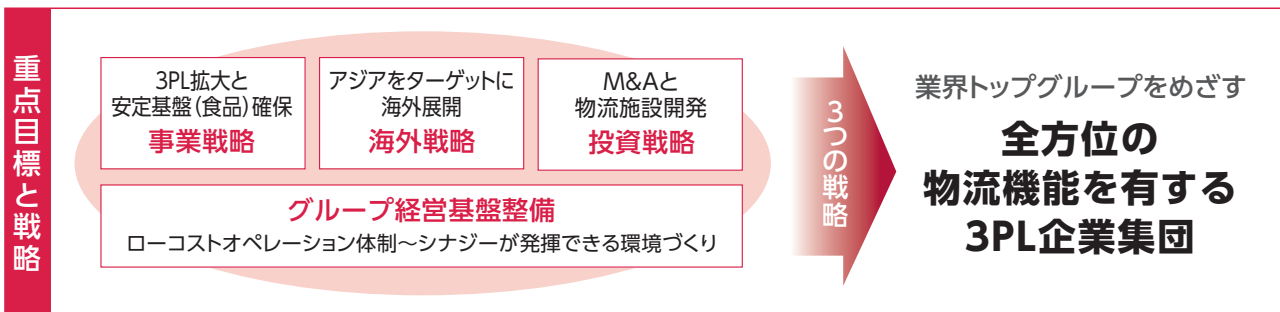
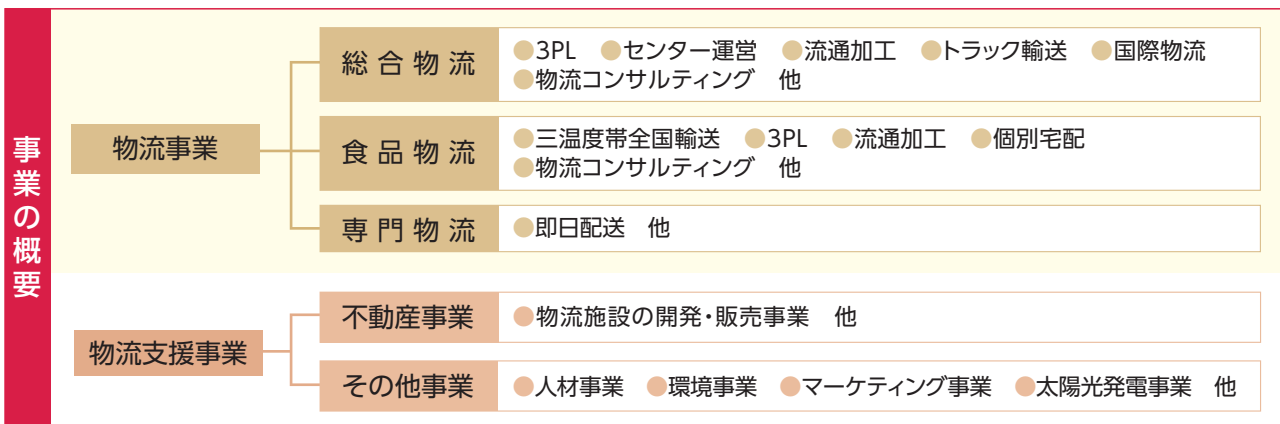


SBS ホールディングス

## SBSグループは、あらゆる物流ニーズに優れた品質でお応えします

当期の計画	■ 売上高	<b>1,370億円</b>
	■ 営業利益	<b>48億円</b>
	■ 経常利益	<b>44億円</b>
	■ 当期純利益	<b>35億円</b>
(計画値は、2014年7月30日に修正したものです。)		

第2四半期の実績	(単位:百万円)		
		計画値	実績値
	売上高	63,000	65,777
	営業利益	1,100	1,480
	経常利益	900	1,373
四半期純利益	500	1,761	



※ 本レポートの将来の見通しに係わる記述には、現時点で入手可能な情報に加え一部将来の業績に影響を与える不確定な要素も含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



## グループ一丸となって 取り組んだ営業展開が 奏功した上半期

代表取締役社長 鎌田 正彦

今年の上半期の景気は、アベノミクスの効果が浸透して上向き傾向にあるものの、物流業界においては燃料費の高騰やドライバー不足の深刻化など、依然として厳しい状況が続いております。

そのような中、SBSグループは、今期からスタートした中期経営計画「SBS Growth 2017」の達成に向け、グループ全社が一丸となって積極的な営業を展開いたしました。

主力の物流事業では、3月までの消費税増税に係る駆け込み需要に対応しながら、新規受注の大幅拡大をめざし提案営業を強化させてきました。その結果、大手食肉加工企業向け3PL業務に続き、大手百貨店が運営する通販事業や食品宅配事業向けのセンター業務を関東と関西で相次いで受注いたしました。

海外展開では、シンガポールの2つの現地法人を合併したほかコンテナ輸送を手掛ける現地物流企業

を買収し、フォーディング事業に加えて同国内での輸送事業に参入しました。またグループ初の海外自社物流施設をタイに完成させ、ASEAN地域での事業を加速させる体制を整えました。

その他事業では、太陽光発電事業第1次計画が完了、出力規模は5.4メガワットとなりました。引き続き第2次計画として下期に新たに2メガワット規模の発電を開始する予定です。また保有するオフィスビルを資産ポートフォリオの入替策の一環として売却。回収した資金をM&Aや施設開発に再投資してまいります。

SBSグループは、今後も着実な成長をめざし、業務の効率や品質をさらに向上させて競争力の強化に努めてまいります。これからもSBSグループを末永くご支援賜りますようお願い申し上げます。

# 順調に進展しているSBSグループの海外事業展開



## シンガポールで物流会社を取得

SLHSは、同国内においてコンテナ輸送を手掛ける物流会社GIM GUAN FREIGHT PTE. LTD. (以下、「GGF」)の全株式を取得し、同国内において実運送事業に進出しました。

## ASEAN拠点を整備

SBSグループは、2014年1月、ASEAN地域での物流事業展開を加速するため、シンガポールの2つの現地法人SBS Logistics RHQ Pte. Ltd. とSBS Atlas Logistics Holdings Pte. Ltd. を合併し、SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd. (以下、「SLHS」)に社名変更しました。またマレーシア、ベトナム、タイにある3つの現地法人の社名についても、変更を行いました。

### 【海外現地法人一覧】(2014年6月末)

SBSホールディングス	天愛陸物流(上海)有限公司	中国・上海
	上海慶亜留塑料加工有限公司	中国・上海
	SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd.	シンガポール
	SBS Logistics Holdings Hong Kong Ltd.	中国・香港
	SBS Logistics Hong Kong Ltd.	中国・香港
	SBS Total Logistics Malaysia Sdn. Bhd.	マレーシア
	SBS Logistics Vietnam Co., Ltd.	ベトナム
	SBS Logistics Thailand Co., Ltd.	タイ
	TAS Logistics Co., Ltd. (物流施設開発・運営)	タイ
	Atlas Logistics Pvt Ltd.	インド



## グループ初の海外自社物流施設がタイに完成

2013年12月からタイ最大の国際港であるレムチャバン港近郊に建設を進めていた、当社グループ初となる海外自社物流施設の第1期工事が6月中旬に完了し、1号倉庫と事務所棟が7月中旬から稼働。第2期工事も8月下旬に完了し、2号倉庫と寄宿舍棟が9月中旬より稼働する予定です。今後は、2015年秋の竣工をめざし3号倉庫を建設する計画で、最終的には延床面積3万平米の物流施設となる予定です。

\*この施設は、タイのパートナー企業Trans Air Cargo Co., Ltd. と共同で設立した合弁企業TAS Logistics Co., Ltd. が開発したものです。

### 【施設概要】

**正式名称** TAS LOGISTICS WAREHOUSE

**所在地** タイ王国 チョンブリ県シラチャ

**敷地面積** 63,840m<sup>2</sup> (19,312坪)

**建物概要** 1号倉庫：平屋建 9,788m<sup>2</sup> (2,966坪)、2号倉庫：平屋建 9,638m<sup>2</sup>、3号倉庫：平屋建 9,638m<sup>2</sup> (予定)

**ロケーション** レムチャバン港／約25km、スワナプーム空港／約100km、バンコク市内／約125km



6月

### シンガポール現法が 子会社を吸収合併

SLHSは、GGF社を吸収合併し、運送事業部門のさらなる拡大と、品質・効率の向上を図ります。



上海



香港




ベトナム

## 太陽光発電事業を推進

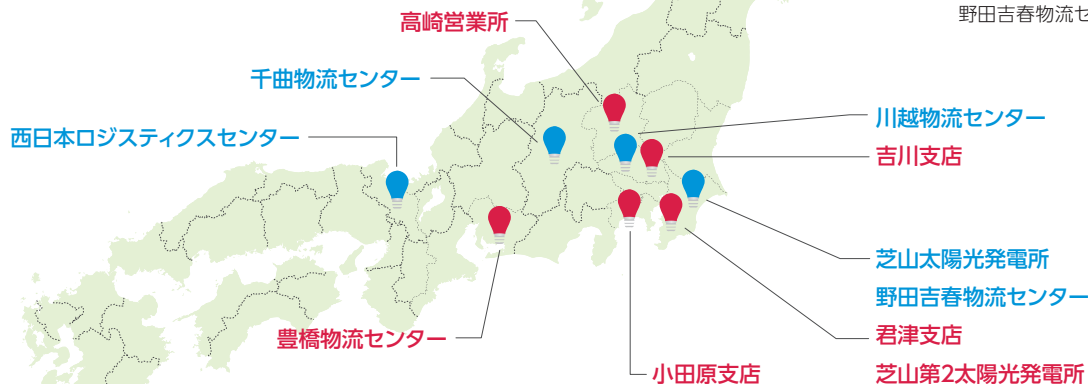
SBSグループは、グループ資産の有効利用と再生可能エネルギーの供給拡大を目的に2013年より太陽光発電事業に参入。3月末に第1次計画最後の発電設備が稼働し、発電能力は5.4メガワットとなりました。

また、引き続き第2次計画として1.8メガワットの発電設備の増強を行う予定で、第2次計画完成時の当グループの発電能力は7.2メガワットとなり物流事業者としては最大級の発電事模となります。

今後もSBSグループは、新設物流施設には太陽光発電設備を設置し、施設の有効利用とグリーンエネルギーの供給拡大に努めてまいります。

 稼働施設 (第1次計画)

 敷設検討施設 (第2次計画)



芝山太陽光発電所



野田吉春物流センター

### ■第1次計画

稼働施設	芝山太陽光発電所	野田吉春物流センター	川越物流センター	千曲物流センター	西日本ロジスティクスセンター	稼働施設合計
発電能力(kw)	2,826	514	830	604	617	5,391



2014年度の 発電能力(kw)	7,200
---------------------	-------

### ■第2次計画 (2014年下期開発予定)

敷設検討施設	君津支店	吉川支店	高崎営業所	芝山第2太陽光発電所	豊橋物流センター	小田原支店	検討施設合計
発電能力(kw)	270	230	160	710	220	210	1,800



## Gマーク認定取得率78%に向上

(SBSグループ)

1月

(社)全日本トラック協会が2013年12月に実施したGマーク制度2013年度安全性優良事業所の評価にて、新たに16事業所が認定を受け、これによりGマーク認定事業所数は97、取得率が78%になりました。



## 高島屋様の通販センター業務を開始

(SBSゼンツウ)

3月

食品物流・食品個配を担うSBSゼンツウは、大手百貨店の高島屋様が展開される通販事業のフード・スイーツ商品の入出荷管理業務を受注。浦安市にセンターを開設し、2月より業務を開始しました。



## 安全対策事例が 運行管理者講習テキストに採用

(SBSフレック)

4月

SBSフレックは、独立行政法人自動車事故対策機構様(NASVA)が発行する運行管理者一般講習用テキスト2014年度版に、事故防止対策等に関する情報として、安全対策の取り組みが事例掲載されました。なお、本事例は、今後2年間掲載される予定です。



## 安全なキャットフードを提供する 通販サイト「tama」を開設

(マーケティングパートナー)

5月

ネット通販事業を展開するマーケティングパートナーは、愛猫の健康にこだわる方のためのプレミアムキャットフード専門



ネット通販サイト「tama」を開設し、5月より本格運用を開始しました。\*「tama」は<http://www.tamaone.jp/>をご参照下さい。



## 新たな食品物流拠点として 川口営業所を開設

(SBSゼンツウ)

5月

SBSゼンツウは、業務拡大に伴い新たな物流センターとして川口営業所を開設し、浦和営業所から業務を移管。延床面積は約2倍、冷蔵庫も2倍、冷凍庫は6倍の規模拡大となりました。今後は、共同配送拠点として活用し、業務拡大を図ってまいります。



## 安全運転研修会を東北地方で 初開催

(SBSグループ)

6月

2013年4月より、運転操作や安全確認など基本運転技術の再確認とドライバーの運転技能の分析、評価を行うオリジナルの安全運転研修会を実施。東北地方に勤務するドライバーを対象に仙台でも開催しました。

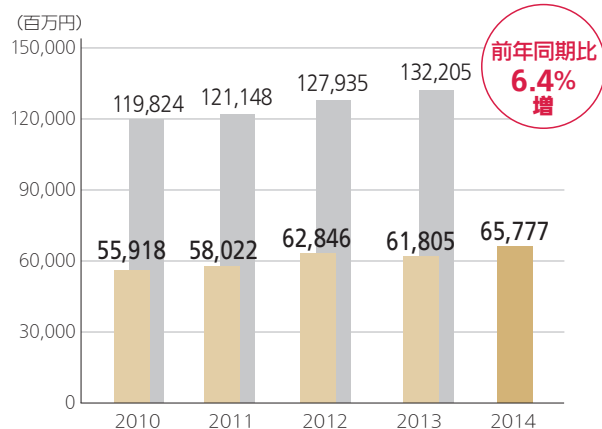


## 第2四半期の連結業績

消費税増税前の駆け込み需要による物量の大幅増加に伴い、物流事業や人材事業が伸長したことにより売上高は前年同期比で増加しました。燃料費や備車費などのコスト増があったものの、売上高増加によって利益が拡大したことから、営業利益および経常利益は増加しました。またオフィスビルの売却など固定資産売却益を特別利益に計上したこともあり、四半期純利益は大幅な増益となりました。

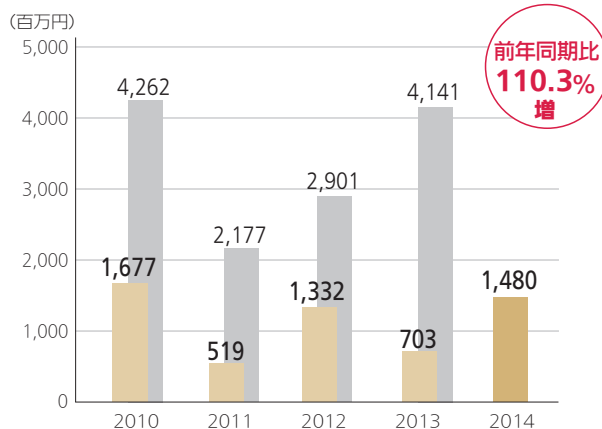
### ■ 連結売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



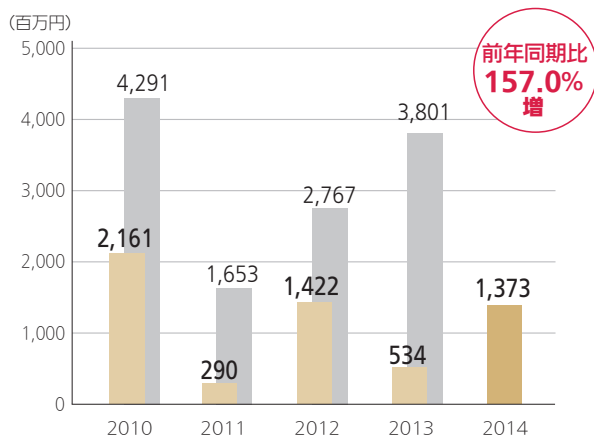
### ■ 連結営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期



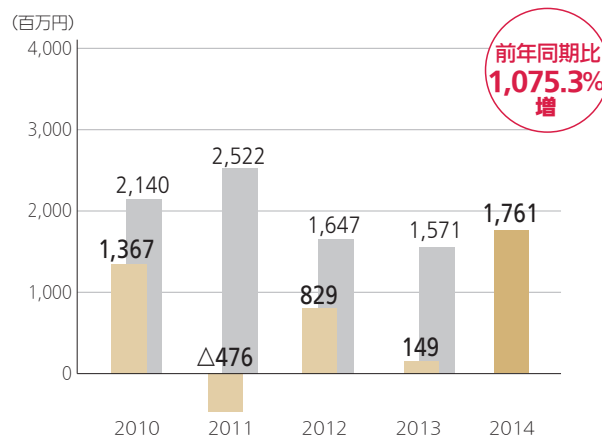
### ■ 連結経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期



### ■ 連結四半期(当期)純利益

■ 第2四半期 ■ 通期



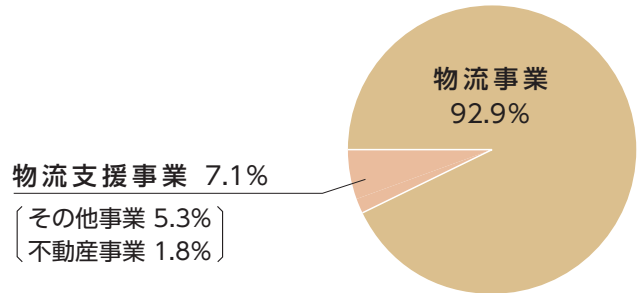


[セグメント別概要]

(単位:百万円)

	2014年第2四半期		2013年第2四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
物流事業	61,330	605	57,884	△77
不動産事業	1,199	612	1,350	694
その他事業	3,477	171	2,857	31
調整額	△229	91	△287	54
合計	65,777	1,480	61,805	703

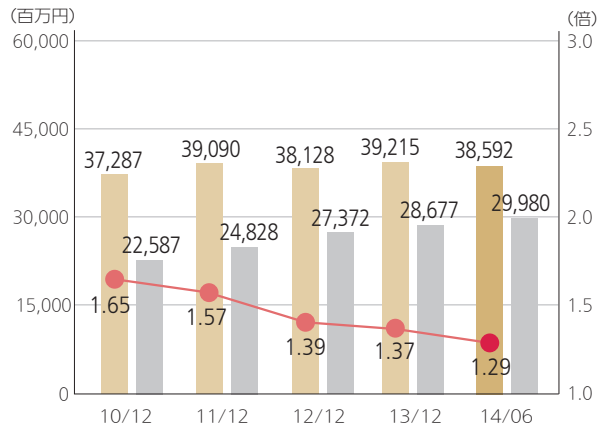
● **物流事業**：食品関係の3PL業務や新規センター業務が立ち上がったことに加え、消費財、飲料、日雑系を中心に消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、売上高は増加しました。売上高の増加に伴い利益が拡大し、前年同期の営業損失から営業利益に転じました。



● **物流支援事業**：不動産事業では前年度に賃貸用不動産施設の一部を譲渡したことから、売上高が減少し減収となりました。一方、その他事業では人材事業が好調に推移したほか太陽光発電事業も加わったことで、増収増益となりました。

■ ネット有利子負債／株主資本／ネットDEレシオ(右軸)

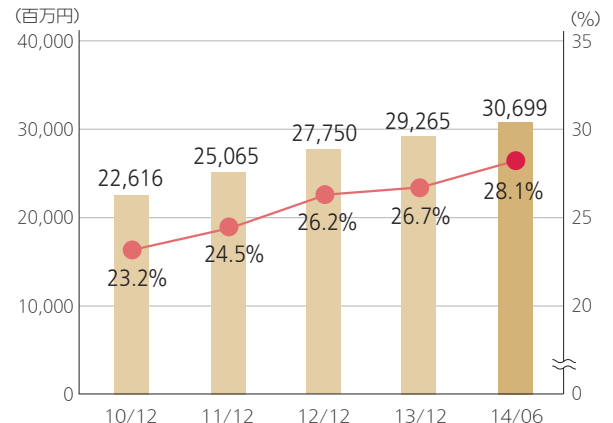
■ ネット有利子負債 ■ 株主資本 ● ネットDEレシオ



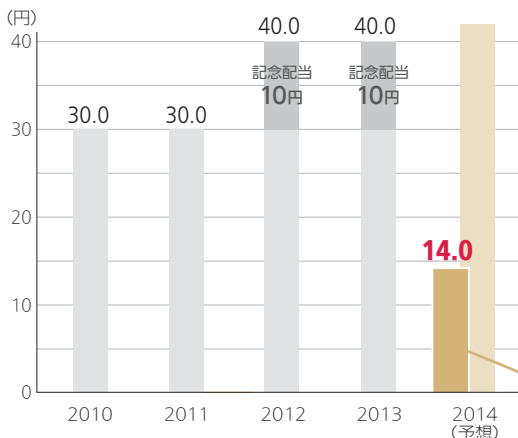
※ネット有利子負債=長期・短期借入金+社債-現金  
 ※ネットDEレシオ=ネット有利子負債÷株主資本

■ 純資産／自己資本比率

■ 純資産 ● 自己資本比率



■ 配当金の推移



※1株当たり配当金につきましては、株式分割・単元株制度移行後の金額を記載しています。  
 ※2012年の記念配当は、東京証券取引所市場第二部への上場を記念して実施したものです。  
 ※2013年の記念配当は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念して実施したものです。

利益配分に関する基本方針

SBSグループは、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策のひとつと位置付けております。より強固な経営基盤の構築と株主資本利益率の向上を図ることにより、業績に配慮しつつ安定的な利益還元を努めています。

2013年12月期は、東京証券取引所市場第一部への上場を記念し、1株当たり普通配当30円に10円を加えた40円を配当金といたしました。2014年12月期につきましても1株当たり40円を予定しておりましたが、1:3の株式分割により、1株当たりの配当金を14円、実質2円の増配とさせていただきます。

1:3の株式分割により 1株当たり 14.0円  
 前期(2013年12月期)実績との比較 14.0×3=42.0円  
 (株式分割については裏表紙をご参照下さい。)

当期(2014年12月期)の連結業績予想

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS (Forecast)

売上高

137,000 百万円

前期比  
3.6%  
増

営業利益

4,800 百万円

前期比  
15.9%  
増

経常利益

4,400 百万円

前期比  
15.8%  
増

当期純利益

3,500 百万円

前期比  
122.8%  
増

■ セグメント別

(単位:百万円)

	物 流	不 動 産	そ の 他	消 去 等	合 計
売 上 高	125,000	5,300	6,700	—	137,000
増減率	+3.5%	△4.6%	+14.2%	—	3.6%
営 業 利 益	2,050	2,400	350	0	4,800
増減率	+68.2%	△5.9%	+73.3%	—	15.9%
営 業 利 益 率	1.6%	45.3%	5.2%	—	3.5%

※業績予想の数値は、セグメント間の内部売上高を控除しております。  
 (予想値は、2014年7月30日に修正したものです。)

## ■会社概要 (2014年6月30日現在)

社名	SBSホールディングス株式会社
代表取締役	鎌田 正彦
創立	1987年12月16日
資本金	39億298万円
売上高	1,322億円(2013年12月期連結)
所在地	〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822
事業内容	物流事業、不動産事業、マーケティング事業、 人材事業 他
主要連結子会社	SBSロジコム株式会社 SBSフレック株式会社 SBSゼンツウ株式会社 SBS即配株式会社 SBSスタッフ株式会社 アトラス ロジスティクス プライベート リミテッド SBSサポートロジ株式会社 SBSファイナンス株式会社 株式会社エーマックス マーケティングパートナー株式会社

## ■役員 (2014年6月30日現在)

代表取締役	鎌田 正彦
常務取締役	入山 賢一
取締役	杉野 泰治
取締役	渡邊 誠
取締役	関本 哲也
常勤監査役	渡邊 進一郎
監査役	正松本 重孝
監査役	竹田 正人
監査役	岩崎 二郎

取締役のうち、関本哲也は社外取締役です。

監査役のうち、正松本重孝、竹田正人、岩崎二郎は社外監査役です。

## ■株式の状況 (2014年6月30日現在)

発行可能株式総数	154,705,200株
発行済株式の総数	39,613,200株 (単元未満株式1,100株を含む)
単元株制度の有無	有
株主数	3,404名

## ■大株主の状況 (2014年6月30日現在)

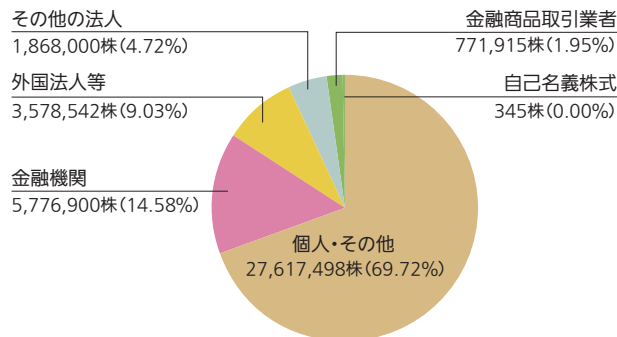
株主名	持株数	持株比率(%)
鎌田 正彦	17,888,400	45.15
SBSホールディングス従業員持株会	1,730,400	4.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,576,300	3.97
株式会社SMBC信託銀行	1,200,000	3.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,035,400	2.61
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	1,004,400	2.53
大内 純一	928,200	2.34
東武プロパティーズ株式会社	826,800	2.08
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224	750,000	1.89
吉岡 博之	566,700	1.43

※日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)は、従業員持株会信託における再信託先であり、従業員持株会信託口が保有する当社株式553,900株を含んでおります。

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数第3位を切り捨てて表示しております。

## ■所有者別株式分布状況 (2014年6月30日現在)

(発行済株式総数:39,613,200株)



## 株式分割完了について（当社株式を1株につき3株の割合で分割）

当社は、株式の流動性を高め投資家層の拡大を図ることを目的に、2014年5月31日を基準日、翌6月1日を効力発生日として、当社株式1株を3株の割合で分割しました。なお、本株式分割にとまない、1株あたりの株価は3分の1に変更されています。

### ■分割により増加する株式数

- |                             |                               |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ① 株式分割前の発行済株式総数…13,204,400株 | ② 今回の分割により増加する株式数…26,408,800株 |
| ③ 株式分割後の発行済株式総数…39,613,200株 | ④ 株式分割後の発行可能株式総数…154,705,200株 |

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 **0120-232-711** (通話無料)

## 株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月開催

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告方法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に  
公告いたします。

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **SBS ホールディングス株式会社**

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー  
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822

**UD  
FONT**

**VEGETABLE  
OIL INK**

 ミックス  
責任ある水産資源を  
使用した紙  
FSC® C004858